

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2021～22 年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日

会 長 福田 和子

例会場：パレスホテル大宮

幹 事 押野 一郎

第2728例会 2022/04/18

例会日：月曜日 12:30～13:30

雑誌・会報委員会 甘野 幸一

発 行 日 2022/04/25

会 長 挨 拶



会長 福田 和子

皆様こんにちは、
新年度のお忙しいと
ころ、ご出席ありが
とうございます。

嬉しいニュースが
あります。高橋秀樹
年度（2017-18年度）
の米山記念奨学生で
あった、シャキヤ・
スラクシャさんが、

4/12、3020gの元気な男の子を出産しました。
母子ともに健康で「レオン・マン・シャキヤ」
と名付けられたそうです。おめでとうございます。

このところ物価が上がる懸念材料が多くあり
ます。特に気になるのは、生活の基本となる食
料の原材料 小麦が値上げされるとの情報です。

5月は「麦秋」、畑は黄金色に輝き、収穫の季
節です。私も子どもの頃のその景色が記憶にあり
ます。刈り取られた畑には、沢山のスズメが
群がっていました。

その風景はミレーの「落穂拾い」と重なりま
す。皆様も一度は目にしたことがあると思いま
す。ちなみに、ミレーのコレクションは山梨県
立美術館にもあります。以前、見学したことが
あります。

「落穂拾い」は、貧しい3人の農婦が収穫後
の畑にかがみこみ、残った麦の穂を拾い集めて
いる絵です。与えられた生活をただ生きること
の清らかさを表現したものです。農場主は収穫
する際、日々の糧に困る人のため刈りつくさず
穂を残しておく、そんな暗黙のルールがあった
そうです。「空腹を満たすパンの材料を集めて、
少しでも生活の足しになるように」という配慮

ですね。

世界の主な小麦生産国は、“欧州のパンかご”
と言われるウクライナです。この悲惨な戦争
が、小麦の生産に暗い影を落として、じわじわ
と食糧危機が迫っています。こんな愚かな戦争
のため、誰も飢えさせてはならないです。畑に
落穂を残した先人のごとく、私たちにも“慈悲
の心”が必要です。

本日は、心の教育もされている、4代目 佐藤
栄学園 理事長の 田中 淳子 様に貴重な卓話を
いただきます。多くの卒業生を世に送り出して
いる学園として、教育と子どもたちの夢の実現
をどうされているのか興味がありますので、ぜ
ひともお聞きかせいただきたいと思います。よ
ろしく願いいたします。

これにて会長挨拶とさせていただきます。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

島野 良紀 会員



お客様紹介・米山記念奨学生紹介

- 学校法人佐藤栄学園 理事長 田中 淳子 様
- 学校法人佐藤栄学園 教諭 菅野 琢也 様
- 2022 学年度 米山記念奨学生
グエンティガンさん



（ご紹介： 副会長 藤嶋 剛史）

心に夢を 奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>

